

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2012-3167(P2012-3167A)

【公開日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2010-140113(P2010-140113)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 0

G 0 3 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月18日(2013.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

装置本体と、

トナー像を担持する像担持体と、前記像担持体に作用するプロセス手段と、を有する前記装置本体に着脱可能なプロセスカートリッジと、

前記像担持体と接触する無端ベルトと、前記像担持体に担持されたトナー像を前記無端ベルトへ転写する転写部材と、を有する前記装置本体に着脱可能なベルトユニットと、
を有する画像形成装置において、

前記プロセスカートリッジ及び前記ベルトユニットを前記装置本体に位置決めするための位置決め部材であって、前記像担持体の位置決めと、ベルト回転方向における前記転写部材の位置決めと、を行う前記位置決め部材を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記転写部材を支持する支持部材を有し、前記支持部材は、一端に前記転写部材を支持するアーム部と、前記アーム部を回動可能に支持する回動軸と、を有し、

前記回動軸が前記位置決め部材に位置決めされることで、前記転写部材が前記位置決め部材に位置決めされており、

前記回動軸は、前記転写部材よりもベルト回転方向上流側に配置されていることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記ベルトユニットは、前記回動軸が前記位置決め部材に位置決めされる位置に近い位置で、前記ベルトユニットを前記位置決め部材に規制する規制部材を有することを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記プロセスカートリッジを前記装置本体の外側で着脱可能な引き出し位置と、前記装置本体の内側で前記像担持体に静電潜像を形成できる潜像形成位置と、に移動する移動部材と、

前記像担持体を前記無端ベルトから接離可能に前記移動部材をガイドするガイド部材と、前記画像形成装置に開閉可能に支持され、前記移動部材を前記引き出し位置に移動する際

に開くカートリッジカバーと、

前記カートリッジカバーを開く動作に連動して、前記ガイド部材が上方に移動し、前記像担持体を前記無端ベルトから離間させ、前記移動部材を移動可能とするリンク部材と、を有することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

装置本体と、

トナー像を担持する像担持体と、前記像担持体に作用するプロセス手段と、を有し前記装置本体に着脱可能なプロセスカートリッジと、

シートを搬送する無端ベルトと、前記像担持体に担持されたトナー像を前記無端ベルトで搬送されるシートへ転写する転写部材と、を有し前記装置本体に着脱可能なベルトユニットと、

を有する画像形成装置において、

前記プロセスカートリッジ及び前記ベルトユニットを装置本体に位置決めするための位置決め部材を有し、

ベルト回転方向における前記転写部材の位置決めを前記位置決め部材で行うことを特徴とした画像形成装置。